

一般質問

この一般質問の内容は、会議録(録音テープ)に基づいて各議員が原稿をまとめ、編集委員会が最終確認をしたものです。



富 春治 議員

◆西原台団地がけ崩れ工事開始に向けて ◆文化芸術振興条例の制定を

費が三千万円委託につきましてはまもなく発注予定であります。地権者の同意率は四十一名中三十二名七十八%、不明地主三名、未承諾者が六名となっております。

文化芸術振興条例の制定について現況の思いつきのアンバランスな文化事業でなく、町民のニーズや人材育成に向けての条例制定について答弁を求めます。

この問題については確かに三月議会でも質問がございました。確かに富議員おっしゃる様に西原町は文教のまちということ

去年の十月二十九日西原台団地がけ崩れ工事が決定されたが工事開始に向けて、地権者の同意取付けは何名中何件ですか。

土木課長 事業工事が平成十六年度から二十年度までの五年間で全体事業費二億三千五百万円今年度事業費として五千三百万円の事業費が確定しているとのこと

で、富議員の方から報告ありましたように、測量設計委託料が二千万円と本工事



前里光信 議員

◆自然環境について ◆マリンタウン事業教育問題について

西原町では自分の畑であれば、どう使用しようが自分の勝手と言わんばかりの状態があり、住宅の増改築等の産業廃棄物を堂々と畑に捨てたりしている。その為、近くの町民が大変迷惑をこうむっている。例えば近くで遊ぶ子供たちに衛生上も、教育上も、環境上も悪い状況が起きています。町当局の対応を問う。

善されない場合は保健所や浦添署と連携して対応しております。又土地の管理者に不法投棄をされないよう常に自分の土地の状況を把握するよう指導しています。

今、教育の現場は問題がありまして、小学校生による学校における殺人事件が起きているわけでありまして、本土の事件とは言え、これは大変社会的にもショッキングな事件である訳であります。いわゆる人命の尊重を最優先して、教育はなされるべきだと言うふうに私は理解しているわけでありまして、人の命の尊さと言う事がよくわかっていない教育が現実的に我が日本の国にはあると認めざるを得ない。今後どうやっていくかと言う事が大きな課題であります。西原町の現状はどうかお聞きします。

- 次の質問も致しました。
- 一、町職員の行財政改革チームへ町民と専門家の参加を
- 一、町職員の退職時給について
- 一、東崎工業団地売却に伴う固定資産課税客体の試算計について
- 一、介護保険事業について



向きに検討をしていきたいと思っております。今後ともよろしくお願ひします。



屋良朝英 議員

世界に冠たる平和憲法の堅持を

「ぬちどう宝」は九条の精神

戦争の放棄、戦力の不保持、交戦権の否認こそ憲法の精神であり、「ぬちどう宝」ウチナンチュの心に通じるものです。国内唯一の地上戦を強いられた沖縄県民にとって第九条の精神は、譲ることのできないものと考えます。ところが、ブッシュアメリカ政権の傀儡政権である小泉内閣は、国内論議もしないままにいと簡単にイラクへの自衛隊の派兵を決定しました。断じて許されるものではありませんが、町長は

この問題についてどう考えるか。

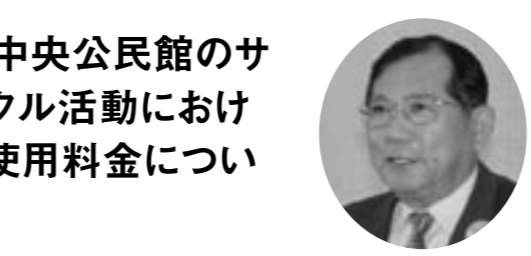
町長 憲法九条を如何にして守るかが大きな政治課題となっているが、自衛隊が多国籍軍に参加できるという暴論がまかり通る等間違った論議が繰り返されていく中で、私たちは平和憲法を堅持すると言う取組をますます強化していかなければならないと考えています。



歴史から学び、後世にどう伝えるか

「その時 歴史が動いた さとうきび畑の村の戦争」NHK大阪放送局制作が二〇〇四年三月三十一日に放映されましたが、軍人が女装をして戦闘に参加したなどの新事実(米軍はすでにそのことを知っていたが住民と兵隊を区別することが出来なかった)が

明らかにされ、その結果、実に町民の四十七%という未曾有の犠牲者が出てしまったのではないかと放送されました。このことを後世にどう伝えていくか。



屋宜宣太郎 議員

町中央公民館のサークル活動における使用料金について

町中央公民館を利用するサークル団体は年齢を問わず老若男女が三十余のサークル活動をしており、週一回のサークル活動でみんな生き生きと元気に楽しく過ごしております。ところが五月になりますとサークル活動での町中央公民館の使用金額が提示されました。その金額の高さに各サークル長はともて工面できる金額ではありません。せっかく長年皆さんと仲良くお付き合いし生きがいを感じていましたが解散するしかありません、とさびしく話されていきました。

町中央公民館を利用するサークル団体は年齢を問わず老若男女が三十余のサークル活動をしており、週一回のサークル活動でみんな生き生きと元気に楽しく過ごしております。ところが五月になりますとサークル活動での町中央公民館の使用金額が提示されました。その金額の高さに各サークル長はともて工面できる金額ではありません。せっかく長年皆さんと仲良くお付き合いし生きがいを感じていましたが解散するしかありません、とさびしく話されていきました。

健康衛生課長 個人所有地の場合、自分の土地であっても不法投棄をしてはいけない事を直接指導したり、該当者へ文書を発送したりしています。それでも、改

もともと公民館は町民の生涯学習の場であり憩いの場所でもあります。資格を取るとか免許を取るとかの場所ではないのです。今年も含めて今後どうするつもりですか。

生涯学習課長 町の説明がサークルの皆さんと十分な話し合いがなされていない状況もありまして今年度は一応有料化は白紙の状態というところで考えております。今後どうするかについては内部でも検討していきたいと考えております。



玉井正幸 議員

観光振興のための事業を展開しているか

問

観光振興のため農業や漁業として商工業との連携を図る必要がある。それについての取り組みを聞きたい。宿泊施設(ホテル)の誘致について、進捗状況はどうか。民宿施設等への助成を考えてみてはどうか。中城湾はマリンスポーツに最適だとされている。国や県とタイアップしてヨットレース等の開催はできないか。

町長 ホテル誘致については県にも積極的に要請している。民宿への助成は当面は考えていない。マリンスポーツは今後十分調査研究

すべきだと考えている。**産業課長** 観光に関する取り組みとしては沖繩カントリーへのアクセス道路の整備やサワフジのライトアップがある。今後はマリントウ地域等の整備等本町の資源を生かし振興を図りたい。農業や漁業として商業の連携は欠かせない。

問 少年少女陸上競技大会について

開催について基本的な考え方を聞きたい。大会を成功させるには町内のあらゆる組織と連携を図る必要がある。連絡等は行き届いているか。

生涯学習課長 趣旨については小中学生の基礎体力の向上、記録への挑戦、スポーツの普及、児童生徒の健全育成、学校間の交流等を目的としている。また当日は学校での部活動の自粛願いと同時に児童生徒の積極的な参加を呼びかけている。

問 小中学校の運動会について

小中学校の運動会は団体演技以外の競技、リレー等走り競争等は区対抗



字対抗であれば地域の応援団も増えると考えられる。自治会との連携を図れば学校教育の面でもいい影響があると思うがどうか。**学校教育課長** 運動会では自治会の対抗リレー等があれば盛り上がるし、応援団も増えると思われる。学校と地域連携を図り、ぜひ運動会や体育祭を利用してもらいたい。定例の校長会あるいは教頭会等でもお願いをしていきたい。

- ◆今、学校事務職は
- ◆教職員評価制度は
- ◆農産物の販売は?
- ◆土砂崩れ農地は?



有田力 議員

問 学校事務職について

学校事務職の継続配置は、町当局も断腸の思いで職員派遣方法を見直された様であります。見直した後の学校現場における問題は? 検討課題は? 評価は?

教育総務課長 派遣見直しは事務職員の効率的な事務改善と考えております。

スタートが新学期に当たり学校運営に混乱が生じないよう四月中旬から後半まで現体制で派遣対応しました。実施して日が浅く、今後とも、学校側と十分連携

を取るなかで、町内六校での学校事務共同化の研究結果も踏まえ問題が生じない様努力していきたいと考えています。**教職員の評価制度は**

問

評価制度については平成十六年度は管理職、十七年度は一般教職員を対象に試行導入、十八年度から管理職及び一般教職員での完全実施を行うと教職員評価システム検討委員会は中間答申をしております。本町での導入にあたり学校現場の意見をどう反映したか? 十分な合意形成は? 問題点はないか?

教育長 評価制度は、教育活動を評価するものであり、自己申告、実績の自己評価、最終申告を受けて教育長あるいは校長が業績評価をするシステムです。同制度は去る三月に中間答申の基本的考え方が示されたばかりでありきちつとした回答ができません。

問

津波被災地区経営構造対策事業は、国、県、本町の補助事業で施設が完成し農業振興に大きく寄与できると考えております。当該ハウスで生産される作物

の販路拡大に行政としての様にかかわっていくのか? 植付作物についてどの様な指導をしていくのか?**産業課長** 販売に関しては生産者個々で共同青果、東京大阪市場へ出荷しております。価格の問題もあり販路拡大のかかわりには限度があります。植付指導は沖繩県農業協同組合や中部改良普及センター等がしており、町は土壌検査、研修会、先進地視察をしております。

問

小橋川宇津尾区の農地ではキビ作りをしているが、平成十三年度来襲の台風災害のあと、大雨が降る度に土砂崩れが広がり農道のガードレール近くまで広がっている。施設方針のサトウキビ増産と農地回復をどう位置づけるのか?

土木課長 被災原因が盛土によるものか、地すべりによるものか状況がまだはっきりしない。河川が崩壊した部分は河川災害復旧での事業採択の可能性はあります。七月頃踏査調査、その後測量調査となりますが予算が伴うので今後とも災害復旧事業の採択に向けて河川課の指導を受け対応していきたい。



呉屋吉則 議員

池田地域に憩いの場を。交通安全対策。小波津川整備事業の進捗状況。

問

県が進めている南風原ダム改修工事と関連する散策道の計画は、現在どうなっているか。

産業課長 当初は平成十六年度で農村環境整備事業実施計画を策定すると、南風原町から説明を受けており

十八年度にヒヤリング事業採択申請、十九年度に事業採択し、その中で散策道が位置づけられることになっております。同ダムの水辺は生態系保全のための施設として、ホテルブロックの設置計画を策定中であると聞いております。

問

池田地域の緑豊かな森と水辺を保全・活用する観点から、ホテル飛び交う里づくり構想について伺います。

土木課長 佐明橋付近のホテルの生息状況、ホテル観察のための散策路や小波津川に清流を戻す方策については、「小波津川川づくり協議会」の中で検討します。

問

池田一〇八番地サンセル池田横の十字路に信号機の設置を。この一帯は交通が増加し、しかも見通しが悪くて交通危険箇所になっている。

総務課長 この地点は以前から交通量が多く、事故も多発している所なので、町としても以前から浦添署に信号機を設置するよう要請してあります。特に平成十六年度に信号機設置の最優先地域ということに要請していきます。

問

小波津三三番地前十字路付近は集落内では交

問

小波津川整備事業の平成十六年度における県と町の事業内容について伺います。

土木課長 県は平成十五年度より事業を重ね、十六年

十月までに調査測量設計業務を完了し、その後用地補償業務を行う予定とのことであります。十六年度は四億円の用地補償費の予算が確定し、基本的には平園の中流部と河口側の用地分になっていないと伺っております。同時に、小波津川川づくり協議会を開催し、川づくりに反映できるように今協議を進めております。町としては、小波津川沿い南北線の町道部分については、国道三二九号線から河口までの用地補償を計画しております。

無年金障害者の実態



儀間信子 議員

問

国民年金が任意加入した時代に加わらなかったがために、障害年金が受けられない。無年金障害者であります。無年金障害者であり、学生は九九九年四月、主婦ですと八

六年四月に強制加入となる前に障害をおった人が対象という事だが、西原町は何名の方が該当されるか

福祉課長 障害者でありながら、障害年金が受けられない方の人数ですが、現状では実態を把握するのは困難であります。ただ年金を受給している方の数字は、

問

受験生に多様な選択。これまでの一校と通学区域の拡大を取りあげてきた。来年度二〇〇五年度から通学区域を変更することによって、地域によって選択できる高校数の格差の不平等も是正され、生徒が自分の行きたい学校に行ける。すばらしい事だと思ふ。

町長 高校通学区域の拡大は選択肢がふえたということではないかと思ふ。今後は学校教育の中で、選択肢がふえるということはそれなりに独自の特性を生かした教育方針が必要だろうと思ふ。西原高校は沖繩国際大学との高大連携という方法を選択されたという面、選択肢もふえた反面、学校の教育内容の充実等も今後は期待できるのではないか。

教育長 子どもにはそれぞれの個性があり、価値感の多様化というもあります。

問

一方では地元にある高校の行政としての関わりも大事な課題であると思ふ。

教育長 町の教育行政としては、西原高校とも連携をとりながら、西原の子どもたちが行っている学校として、勉強ができるよう協力していきたい。

問

任期半ばで辞められた島田前教育長、教育行政については心残りがあったのでと思ふ。島田前教育長、教育委員に感謝をしたい。



城間義光 議員

事業系ごみの減量化を

問

ごみの減量化により西原、与那原、佐敷の構成三町で運営する東部清掃施設組合への本町の負担金の軽減が図れると思う。同組合で処理される本町のごみは、平成十五年度の全体で対前年度比一・七％の増、家庭ごみが〇・五％の増、事業系ごみが三・七％の増となっており、町民及び町当局の努力により家庭ごみの減量化対策の効果が現れている。

問

各許可業者（事業系ごみ搬入業者）の搬入状況はどうなっているのか。公平を考えるならば搬出量を制限せざるを得ないと思うが。

健康衛生課長 各許可業者の搬入状況は、平成十五年度実績で西原塵芥が二、三、四ト、西原環境サービス二、〇三ト、平成十六年一月から丸玉クリーンサービス四ト、エコクリンサービス二トです。

公平性については、量の制限は困難かと思いますが、許可業者と話を進めていきたい。

問

事業系ごみを排出する業者をどのように把握しているのか。健康衛生課長 許可業者からの報告により事業者を把握している。

ISO9001の導入を

問

ISO認証取得については、民間企業の大小を問わずマスコミ等で取得や導入の報道がされており、地方自治体では那覇市が導入したと聞いておりますが、本町でもISO9001の導入する考えがないのかどうか。

総務課主幹 ISO9001は、町民へのよりよい行政サービスの提供という観点から、重要な課題だと堅持している。

ただ、取得するための推進体制、維持するための推進体制、期間あるいはコストの面を研究する必要がある。



伊川幸子 議員

南部地区廃棄物処理施設整備の進捗状況について

問

四月十四日、町中央公民館で開催された、南部地区廃棄物処理施設整備推進協議会（以下南廃協）の住民説明会に参加して感じたことに、この会に關しての行政の説明責任はどうあったのか伺いたい。

助役 南廃協については三年前に候補地の選定まで進んでいましたが、地元住民の反対にあい白紙に戻った経緯があり、本格的な議論は今年からなっています。

住民に広く情報を提供し、課題も共有することが大切であるという過去の反省も踏まえての観点から（南廃協）

事務局サイドで住民説明会を関係町村同じような形で説明会を行っております。

問

第一部会・施設建設選定の部長に西原町の助役が着いていらっしゃるが、用地選定という難しい部会の部長になられた経緯を説明していただきたい。

助役 南部広域行政組合の中に一般廃棄物処理場の事業も含まれており、その為西原町も参加しております。外部団体ではありません。その分に関してはまさしく一員としての資格になります。

この問題については南部十市町村の共通の事業ととらえており、その中で誰が部長ということになりますが、この件に關しては各委員の互選になっております。しかしながら事前に事務局から打診があり、私はその時固く固辞し、私ではとても厳しいです。別の人を検討して下さいと固く固辞した訳でして、私ができることと立候補もしておりません。しかしながらこれ全体的な問題ということもありまして、最終的には互選によって選任されたわけです。

問

建設候補地の進捗状況はどうですか。昨年十二月四日の説明会では平成十五年度中に用地選定はされると聞いたのですが未だに選定されていませんが。

助役 ご指摘のように当初計画より遅れています。理由もご指摘の通りです。用地選定の計画としては十二月末までに絞り込みする計画になっております。

町長 二、三点補足しますと用地選定部会長の件ですが、本人から話のあった通りであります。私もそのことは聞いておりましたが、やるなという立場ではないと。一緒に解決すべきだろうと。適任かどうかはみんなが互選すればいいのであって西原はできませんよということとは好ましくないと。幸か不幸か責任者だということでもありますので皆さんのご協力もお願いします。

用地選定の難航している点ですが、迷惑施設であることは間違いな事実で、相手もあることでそう簡単に決まるものではないだろうと。段階的に全市町村候補地をあげ、一つひとつぶすっていく方向で検討しております事をご理解下さい。



長浜ひろみ 議員

教育行政 小・中学校二学期制について 介護保険等について

問

「関わる事が子供を救う」これは、文豪魯迅の叫びであります。今、子供の命が脅かされ、児童虐待や凶悪事件等胸のさかれる悲劇があとをたちません。子供達が学ぶ喜びにあふれ人間性を高め、幸福を満喫していくための教育です。

この教育力こそ、暴力のまん延をくい止め、生命の尊厳を確立する根源の力ではないでしょうか。交わりこそ、関わりこそ教育の命である。近隣における人間関係の希薄化や大人のモラルの荒廃が社会全体の教育力の低下を招いた事はかねて

より指摘されてきました。人間教育の改正のためには学校と家庭と地域が一体となつて子供の幸福のための連帯を堅実に広げゆく事が不可欠でしょう。教育力の復権は大人自身が学び、生き方を見つめなおす事からはじまります。人間性を堅持する方法は学び続ける事だと、大人の側も情報社会、高齢社会を生涯学習の社会としていきたいものです。

教育の本義は人を見下す権威の学歴でもなく、単なる詰め込みでもなく、人間が人間らしく互いに学び、尊敬しあい共に幸福への智慧をわき出す事でありましょう。本町の教育行政で小中学校の二学期制移行計画の進行状況とメリット・デメリット、実施市町村はあるかお聞きします。

答

二学期制のメリットは始業式や終業式の回数が増えるため、授業時数を確保する事ができ、そのため出てきたゆとりをもって授業を進める事ができる。又一つの学期が長くなるため児童生徒の変容が把握しやすくなり、中学校では七月の夏季大会への取り組みの充実、十二月の進路指導や教育相

談にじっくり取り組む事ができ、部活動の生徒が中体連の夏季大会を終え夏休みの勉強に集中し、九月の期末テストに向かう事ができる等があります。デメリットとしては、通知表や定期テストの回数が減る事で、学校での子ども様子の知る機会が減るのではないかと、実態把握が難しくなるのではないかと、学習動機が低下するのではないかと言われています。二学期制導入市町村は嘉手納、東風平、沖縄市の越來中学校等です。

問

介護保険制度は在宅介護で家族の負担を軽くしてくれますが、介護の制度を上手に利用し、高齢者虐待を防ぎ家族が共に健康で楽しく暮らせるようにしていくため介護予防事業の進捗状況と予防効果に關してはどのようになっているか。また夕日の広場の利用状況、屋外ステージのドーム屋根の取り付け等も併せて伺いたい。

答

平成十五年介護予防事業費は、三十四百七十四万三千九百九十二円。要介護一の方を例に町負担額をシミュレーションしたら町負担額が九万一千八百円、介護保険のサービ



呉屋 實 議員

芸術文化の振興及び、文化遺産の保護再生について

問

舞台芸術、視覚芸術の取り組みはこれからの街づくりを考えると益々重要になってくると思うが当局はどのように考えているか。また夕日の広場の利用状況、屋外ステージのドーム屋根の取り付け等も併せて伺いたい。

生涯学習課長 文化芸術に關する取り組みについては、文化庁の支援事業でありまして本物の舞台芸術体験事業では去年西原東小学校に於ける東京混声合唱団の公演、今年度は沖縄県の提供事業でありまして児童生徒の組織鑑賞会が西原東中学校で実

施されることが決定されております。今後も文化庁、他の支援事業の導入に努力し、芸術鑑賞の場を多く確保するつもりです。夕日の広場の利用状況は舞台関係で組踊、内間御鎖金丸公演、平和音楽祭等があります。

町長

夕日の広場ステージの問題ですが、ドーム屋根について概略試算しますと八百万から一千万円位かかり、予算計上を見送った経緯がありますが、今後の検討課題にしたいと思っております。

問

文化遺産の保護再生に關して、初めて調査費が付いた内間御殿整備事業基本調査の今年度の意気込みを伺いたい。史跡、文化財などの案内、説明板は周囲の景観に配慮するべきだと思いがどのように考えているか。

生涯学習課長 基本調査の内容として、内間御殿の歴史的経緯、文化財としての価値の重要性、教育行政の

問

環境美化について、資源ゴミ袋がまたゴミになるその無駄を省くにはどうすればよいか、特に空きビン等はかごで出し、回収したほうがより衛生的で無駄を省くことになると思いますがどうですか。

健康衛生課長 空きビンの回収方法の改善ですが、現在実施中の市町村の情報収集、回収分別現場と調整してできるだけ実施できるように検討します。

こんな質問もしました。南部町村合併の動きの中、本町の一部事務組合（清掃、消防）の今後について



大城純孝 議員

マリントウン周辺地域の整備と、補助金の検討について

問 マリントウン、東崎工業地区の完売は、西原町に大きく寄与していると思います。今、アクセス道路の設置と整備を急ぐ必要があるが、町としての考えはどうでしょうか。

町長 工業団地の完売で、工場建設の途上の会社と既に操業したところもあります。そのことから、アクセスの問題は急を要するというところで六月七日県の土木建設部長に対して活性化のための関係道路網の整備について要請をしています。**土木課長** 住宅地をさけた形で国道三二九号を結ぶ道

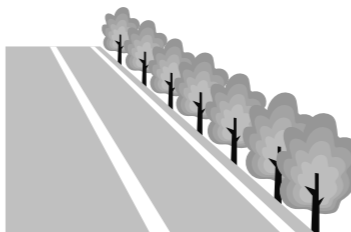
路が最優先と思います。自己財源確保の為に早急な整備が望まれますので県や小那覇の有志の皆さんと連携を進めていきたい。**都市計画課長** 臨港一号をマリントウン事務所、与那原町、と一緒に国道三二九号の渋滞緩和の為に通行ができるようにと考えています。又商業用地、東崎住宅用地の早期処分についても開放が必要だと思います。

問 市町村合併について来年度以降、西原町の近隣町村は合併により市に昇格しますが、今年五月の新聞紙上で合併関連三法案が成立し、県知事の役割が強化されたと報道されましたが、今後県からの西原町に対する指導等があるのか伺います。

町長 去年の三市町村の枠組みで合併がノーという状況であるのでどうい指導があるのか全く予想しておりません。ただ一般論で合併についてどうあるべきというような通達はあるのかと考えています。**問** 財政問題についてですが、今、三位一体の改革の中で、今年の予算組み

に当局は、補助金審査委員会の設置を計上しておりますが、これは補助金をどう検討されるのか。**町長** 補助金等の検討については、ただ削減ということではなく、奨励的な補助でありますので効果と法律的な執行がされているのかということを中心に考えるべきであると考えています。**総務課主幹** 去年の補助金検討委員会と今年の補助金審査委員会の違いについては検討委員会は諮問をして答申を受ける形で議論してもらいました。内容については、客観的交付基準を検討すべきということを諮問し、これを受けて、審査機関を必要とすることで基準に沿った審査をしてもらい課題等があれば報告をしていただくという形です。

が、今、三位一体の改革の中で、今年の予算組み



仲宗根健仁 議員

◇次期町長に期待するものは？

問 翁長町長が就任して町三役や課長、各種審議委員への女性の登用、憲法九条の碑文の設置、西原の塔への戦没者刻銘碑の建立情報公開条例・個人情報保護条例の那覇、浦添市に次ぐ、県内市町村でも三番目の早期制定、いいあんべー共生事業の実施といふあんべー家の建設、介護保険連合会への不参加、私は英断ととらえています。運動公園事業の経費の削減、またマリントウン地区への町道、県道、国道のアクセス道路の事業化、大雨のたび、氾濫している小波津川の二級

河川への格上げと整備の事業化、坂田児童館の建設等々、数え上げるのが大変なくらいの成果をあげてきました。とりわけ公約の最大目標であった町民図書館の建設については、オーブンが八月という目前にきていることは、全町民が喜んでいてと確信しています。様々な取り組みに対して翁長町長の手腕を高く評価しています。財政の建て直しも順調に行き、公債費比率が就任前の一七・二％という危険区域から一三・六％へ大きく改善させ、財政力指数も県内市町村でも上位の四番目に位置することが出来ました。しかし、喜びもつかの間、三位バラバラの改革による交付税の大幅削減で再び危機にさらされようとしています。次期町長となられる方にどのようなことを期待しますか？

町長 これまで色々と試行錯誤しながら、どうすれば財政は健全化できるか、どうすれば住民の福祉増進につなげるかを念頭に置きながら進めて参りました。その前にやはり行政も福祉も教育も平和でなければならぬと考えています。私た

ちが本土復帰を願ったあの平和憲法のもとに帰ろうと必死になって実現したこの憲法、ぜひ大事にして後世に悔いを残さないようにやれる行政でない、平和行政を推進できる人でないといかんと考えています。そして町民との対話、これも欠かさない問題であります。特に地方分権、今後、行政オンリーで自治が推進できるとは考えておりません。少子高齢化、国際化、情報化、教育福祉、産業の振興とあらゆる面で世代わりの時代を迎えています。本町は特に若い街、新しい発展途上にある街であることからすると、先見の目を持って行政の判断が出来る人が望ましい。将来の街づくりは、人も自然も更に文化も最終的には平和でないといかん。この考え方で文教のまちづくりが出来る人に託したい。

米で戦時新資料発見



伊礼一美 議員

その時歴史が動いた(西原を舞台にした戦時記録)を図書館でも放映を

問 去る三月三十一日、NHKで、「その時歴史が動いた」が放映された。この番組はアメリカの公文書館で昨年発見された旧日本軍の戦闘作戦資料にもとづいて編集されたものである。西原の戦場を舞台にしたこの作品はさとうきび畑の村の戦争というタイトルで、松平キヤスターが、なぜ戦闘員でもない一般住民が多く犠牲になったのかを、新しい資料をひもときながら戦争の悲劇の真相に迫った作品だ。発見された新資料にもとづいた戦争の実相を正確に町民に理解させるために図書館で「その時歴史が動いた」のフィルムを鑑賞できる手立てを。**町長** この番組は町民だけでなく全国民にインパクトを与えた。資料にもとづく正確な情報を伝える義務もあるので検討させてもらう。

問 その時歴史が動いたの番組で紹介された新資料の解明を加えた町史「西原の戦時記録」のダイジェスト版を発行する考えは。**町長** 町史、戦争編に盛りだくさんで語らなければならない。一フィートフィルムなど多様な資料をつきあわせた、わかりやすい編集事業は大きな課題だと痛感している。



新田宗信 議員

町長選挙について投票所、開票所における民活の予定はないか。

問 多くの町民を選挙事務に参加させる事により、より身近な、より開かれた選挙をアピールする事から投票率のUPにもつながると思うが、どうか。**選挙管理委員会委員長** 民間を入れる場合、説明会等の時間的調整が難しく、職員でやった方がスムーズに説明会、運営が出来る。どうしても手が回らない様な事になれば、OBの皆さんやこれまで経験された事のある皆さん方にも応援を頼んで民活も入れていきたいと思っています。

料にもとづいた戦争の実相を正確に町民に理解させるために図書館で「その時歴史が動いた」のフィルムを鑑賞できる手立てを。**町長** この番組は町民だけでなく全国民にインパクトを与えた。資料にもとづく正確な情報を伝える義務もあるので検討させてもらう。

問 子育て一番のまちに
問 国の貧弱な児童福祉行政のもとでも、西原町は児童福祉育成計画(わらびプラン)を作成し、子育て一番のまちをめざす環境整備を着々とすすめ、多くの成果をあげつつある。最近の主な事業だけでも、今年度からスタートした幼稚

園の延長保育、すでに実施されている幼稚園の預り保育と二年保育、認可外保育園へのミルク支給などの支援策がとられている。いま求められているのは、認可外保育園の支援、とりわけ税的支援を強めることである。児童福祉法二十四条のただし書きにもとづく児童福祉施設の範疇である認可外保育所に、来年度から導入される消費税の課税をやめるよう国に要請すべきではないか。**福祉課長** 国の消費税法改正によるもので困難。**問** 固定資産税も非課税にする考えはないか。**福祉課長** 認可外保育園は社会福祉事業法の範囲外にあるため、税法上の優遇措置の対象にすることはきびしい。

問 下水道事業について
問 整備状況と今後の課題について求める。**区画整理課長** 公共分四〇・四％、流域分六七・九％で、事業費ベース全体で四六・七％の進捗率であり、今後の国庫補助金の削減等々から計画的執行が図れるか、又、啓発等による水洗化率の早期引き上げや、下水道の接続が課題かと思えます。**企業事業用ゴミ袋の指定について**
問 企業、事業所のゴミ袋の指定化については処理費を取られている中で二重取りとの指摘があるが。**健康衛生課長** 東部清掃組合に支払っているのは、行政が作った施設に対しての使用料で、今回は、ゴミ袋の手数料で、ゴミ処理に回るものではないです。

問 形式的には、二重になってますが、運搬業者に払っている手数料が大きいわけで、ゴミ焼却場に払う業者の金はわずかであります。又、一般家庭のゴミは減ってきたが、企業のゴミは増えて来た事から、企業の皆さんにも減量に努めてほしいとの事です。

問 沖縄県が、寝たきり老人へのおむつ支給を、一部を残して来年度からはぎとる計画を中止させよ。**福祉課長** 県の単独事業であるため、継続は困難かと思えます。**問** 保育所改築に伴う定員増を検討しています。**町長** 公立、あるいは認可問題についても、先送りせざるを得ない財政状況の中で、当面は、棚上げせざるを得ないと考えています。**全国の自殺者、年三万四千人強**
問 自殺の原因に過労も指摘されていますが、職員が健康上、職務体系に問題が無いが、又は、月、百時間以上の超勤を行った職員が何名いるか。**総務課長** 平成十五年度における月百時間以上の超勤を行った者が二名おります。**助役** 特に超過勤務を行っている職員の業務内容、健康の維持管理等に十分な注意を払うと共に、自ら、定時退庁につとめ、さらに課長等は特定の職員に超過勤務が集中しないよう、業務配分及び人員配置の町政につとめております。

問 五十九名の待機児童を、今後どの様に対処するか。**福祉課長** 保育所改築に伴う定員増を検討しています。**町長** 公立、あるいは認可問題についても、先送りせざるを得ない財政状況の中で、当面は、棚上げせざるを得ないと考えています。**全国の自殺者、年三万四千人強**

料にもとづいた戦争の実相を正確に町民に理解させるために図書館で「その時歴史が動いた」のフィルムを鑑賞できる手立てを。**町長** この番組は町民だけでなく全国民にインパクトを与えた。資料にもとづく正確な情報を伝える義務もあるので検討させてもらう。